

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念 掲げております { 人権の尊重...その人らしいお方をめざします。 個別のケア...生活の回復をめざします。 社会交流...地域の一員として暮らすこと。 }	○ 理念の一つである社会交流については、イベントへの参加に加え、散歩、ドライブ、買物等々、会費も多く作るようにし、新理念作成と実践への取組、実践への協働
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフルーム内、リビングの壁に掲示しております。いつでも見える所に掲示することにより、毎日のケアに、理念の実践が実行できる状況にして	全職員理解しております。毎日、個別のケアと、その人らしいお方に合った介護、支援にあたっております。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入所時の説明で必ず、利用者のおあがりいただき、全スタッフに掲げてある理念を、安心して暮らすよう努力しますと御家族様と話ししております。	○ 職員みずから住んでいる近くで話しの中で少しでも「このおんな理念でサービスに励んでいます」と、浸透に積極的に取り組むようしたいと思っております。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	挨拶はもちろん、お話や、当所のイベント時にはおさそいをしたりしております(玉里の里近辺はお祭り住居は別々ですが、みなさんお知り合いです)	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	参加できるイベント等には、できる限り参加したいと思っております。	玉里村の運動会、あけびの荘との合同運動会、晴風園の夏祭り、玉里村の産業祭など参加しました。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>要望があれば検討し参加したい</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>評価を活かし具体的な改善に取り組んでいきます。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>近いうちに開催予定あり</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	<p>市町村担当者との話し合いの機会を多く持つようにしたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>機会があれば学びたい。(研修への参加) 全職員の研修が必要。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<p>機会があれば学びたい。(研修希望)</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には「グループホーム契約書」と「重要事項説明書」を提示し説明させて頂いたが、不安・疑問点もかさね尋ね、理解し納得をして頂いております。説明の際		
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「苦情受付窓口」を設けており、又、玄関に「苦情受け付けポスト」を設置しております。	○	今より、意見が気安く話せるよう、環境の整備が必要と思う(何でも話せる雰囲気)
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の暮らしぶりは、随時、個々に達告しており、又、相談もさせて頂いております。	○	家族とのコミュニケーションを大事にしておりますが、より一層細やかなお話ができる時間が増えればと思っております。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様からの意見、不満、苦情等があった場合は、良く理解し、検討して改善につなげています。	○	家族の方から不満、苦情等は言いきり場合があるかもしれませんが、こちらから聞いてみる姿勢が必要と思う。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議の場にて、意見や提案はしております。結果にかかわらず、聞く機会はできています。	○	何でも気軽に言ってもらえる場と、雰囲気を作りあげたいと思っております。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	昼は3人体制、夜間は1名にて24時間対応できる体制にしております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の退職時は、利用者へのサービス減少にならぬよう、すみやかに対応する。 異動の目的は、サービスのバランスを考慮して行っている	○	新職員は大事に育て、教育しなるべく長い期間、同じ所での勤務できる態勢作りをしていきたい。それが利用者のおいしいサービスになると思えるから。
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	機会を確保し内外の研修に多く参加できるように、復の向上を目指している。	○	新人教育の時間がとれればと考えています。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	相互訪問はしておりませんが、遠距離でのグループホームには訪問しています。	○	積極的に相互訪問はなされれば、新しいケア向上の役立ちと思うので実現に向けて努力します。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	互助会主催にて食卓会や、ボウリング会を行っています。	○	ストレスをためないよう、互いに話し合い、軽減に向け相談し合う時間を多く取り、時間調整し、休める時間。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	資格取得には積極的な奨励しており、職員も同調し、向上心を持って働かれています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用の相談があったあと、入所前に事前調査を行っており状況やニーズの把握はしており、契約時には本人及び家族の不安や求めている事を傾聴し	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前に本人家族の不安、求めていることは、完全に納得いくまで聴き説明し、安心して入所されるようにしております。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	困っている事、その時必要としている支援内容等を理解し、当所だけで可能な事は、他のサービス利用が出来るかどうか明確に答えるようにします。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になんか馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	一方的なサービスにならぬよう、除々に本人が安心感が得られるよう、西已慮り対応して下さる。スムーズに馴染める場合は家族の方にも相談することもあります。	○ あくまでも本人が安心して納得いくまで、話しをし、会う機会を多く持つようにする方法と思われ、本人の立場に於て考え、説明する事でスムーズに利用できるように考えます
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	あくまで個別のその人にあつたケアに努めていきますが、差別的なお話とはおぼろしく少くなる後、意識して全入所者に対して多くの話し合の時間をとれるよう努力します	○ 一緒に過ごし、話し合える時間と多くして行きたいと思っております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者の変化や良からと等は、面会時や電話にて家族の方にもお話しして、相談もし、自好な方向へと努力してます		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族間の中間に入っての申し伝えなどは、誤解のないよう、糸内得すよまじお話し、お互いより良い関係の維持に心掛けています。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	「今、誰に会いたい」「今どこに行きたい」等の希望の話しの中で、早急に実現していただくことを気付くよう、心掛けています。	○	これまでの人間関係、つき合ってきた人達の事を、本人と家族より聞く事ができれば、その関係が続けられるよう支援していきたい。
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者の中には、一人でいる事を好まぬ人が、それはそれで尊重し複数へ同様に介した場は、見守りし、気まぐれ思いをしないうつ回りに配慮しております。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	日々の電話や年賀状等にて、その後の様子とうかがっております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	あくまでも、いつでも本人本位にて考え、安心できる毎日になるよう支援しております。	○ 話し合いの中から何を伝えたいのか、敏感に感じられるよう、見守りと表情にも気を付けて行くと思う
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所の契約時に、これまでの暮らし生活歴をうかがってきました。入所後はそれを頭において、活かすようにしています。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	アセスメントシートや、連絡帳等で状態をスタッフ間で共有し、個々のその時の状態を把握するようにしています。	○ 「できないこと」「できなかったこと」をそのまゝして介助することへの異和感は何か。 「今できること」に対して、もっと本人と一緒に行動していきたいと思う
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	課題を検討し合い、ケア方法をかけ出し本人、家族にとって一番良いサービスになるよう、計画しています。	○ 達成度を話し合う時間 モニタリングを全員で話し合う時間が少ない方法も考え出したい
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	サービス計画書は長期、短期のプラン目標期間ごと、1ヶ月ごとのサービス担当者会議にて、その時の状況もとらえたプランをたてております。	○ プラン通り良い結果がでた項目はその後、維持するための方法を考えたい。 (新しいプランになると、前の部分も薄れる)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活アセスメントシートにて一日の生活記録を記入し必ず全職員共有するよう目を通したと印を押しすることにしては、実践への参考にしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	御家族・関係者は、昼夜を問わず、自由に訪問ができます。まだ泊る事も自由です。通院に関しては相談の上決定しています。	○	本人が家に帰れる準備があれば、家族の方が、一晩でも一緒に同室で泊られて本人が望めば実現に向け話し合ってます。(書かれて)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	現在2組のボランティアの方々が来園されております。消防署との避難訓練やいざという時の警察による協力。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	小美玉市内のケアマネの集りにて、利用者のサービスに関して相談する事かためになる事や、気づきをお知らせする事があります。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	協働しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		<p>個人情報家族に理解を得ることができず、面会簿の記入は今後一考したいと思っております。</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		<p>現有能力を知り、できる限り本人からできる範囲はしていただき、できる部分の支援をしています。月に1度出張の理容師さんへの散髪も別荘</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	管理栄養士が作成したメニューを使用し 食材は配達され、調理は職員がして おります。一部片付けのできる利用者の方も	○	食卓にパン類があまり出ない為、1ヶ月 に何回かは出るよう、栄養士と相談 したいと思っております
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	現在、本人希望で購入しているものは、コーヒ ー、ジュース類、菓子類です。希望を聞き、本人同 行にて買いに行っております。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排便パターンは、排便チェック表にてチェック し出にくい人は医師に相談し、便秘薬を いただいたり、水分量、運動の面でも自然 にできるように支援しております。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴するようにしており、その日の体調や 希望を聞き、入浴できるようにしております。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	就寝時間は決めておりません。 居室の照明や温度も気をつけて休んでも らうようにしております。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自由参加にしておりますが、その日によって 下掛けを介して、食器拭きや掃除等 もあり、楽しみは、うたを歌ったり、散歩や テレビ観賞等々です。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	大きなお金は事務所に預かり通帳に入れ、現金は、ハンズ類に使う。2千円程度にさせておいてます。		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望を聞いた上で、職員のつき添いにて、散歩に行きます。車イス使用の方と同様にしております。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	日帰り旅行、ヒコフコは、プランを練り離れた場所に行くようにしています (今年は、できませんでした)		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙・電話は本人の希望通りにしおり紙、1階の公衆電話の使用してる人もあり紙。(受信、発信簿は記録しています)		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	制限は一切ありません。いつでも気軽に訪問していただきたいと思っております。 (お客様にはお茶もだしています)		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のない介護を心掛けており、ポスターも壁に貼って、全員がみられるよう、防止するようになっています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけない事にしてます。		
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に所在確認と見守りに力を入れ、安全に暮らせるよう心掛けております。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	不用品はなるべく置かないようにしておりますが、一部食堂のテーブルやイスを移動させる人には特に注意を払っています		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	薬…飲み終るまで確認 窒息…2分間の確認・行方不明…見守りと夜間確認 (居室内の転倒を危惧しています)		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	利用者の急変に備え、全員上級救命士の講習を受け、事故発生時には緊急連絡網を決めています。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は消防署立合いの元で行っております。関連施設の応援も決めております。たんぼの棟は2階にある為、1層の対策もたて、予防に力を入れております。	○	もしもの時の非常用食料の備蓄はまだ不完全と思います。今後の課題にしていきたいと思っております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクの可能性のある利用者の家族には前もって、予防策を相談し知っていたらどうお話ししています。全職員が対応策を練りまわす。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	朝一番の顔色や本人の話し方の変化、バイタルチェックでの異常は早急に対応しています。記録に残し、全スタッフに共有してもらっています。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤飲の不安は、本人が服用し終るまで確認するとしています。副作用については薬と食事等の確認し、異常の発見に気が配っています。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	老化以外に運動不足、水分不足、食量等の原因の有無を検討し対応しています。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯科医のアドバイスも受け、歯みがきや歯垢とりをし口腔ケアを行っています。声かけが大事と思っています。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	特に水分補給に気を付けています。×量は残さずの量を目安にしています。	○	全スタッフの知識向上の為にも1人1人の摂取量をおおきくつかめよう努力しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザ-家族に相談し全員予防接種を受けようとする。 ノロウイルス-手洗いの励行 その他 - 他者に感染しない対策をとります		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の保管は1日分だけの量ですが夏場は特に気を配っています。 食器とフロンは漂白や洗浄に気を付けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前には常に花をたやさないようにプランターにて育てています。裸まわりの花は適時草刈りを行っています。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	花を飾ったり、壁に絵等を貼っています。 (私しとされる事も多い) 飾り物は最小限にし、清潔感はやささないようにしています。	○	あくまでも家庭的な雰囲気を出せるよう考えていきたいと思っております
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂兼リビングの後、あり空間は広くありませんが、座り位置に気配し、不快な思いをさせないように気を付けています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	申込み時、家族の方にもなじみの品を持 込めらるお話しをします。居室に物入れや チェストが、そのまま付けられている長、小テーブル イス止りになることが多いです。		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	共用部分、居室部分共換気扇があり、 常時作動しています。エアコンはその日の温度 により調節しております。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	廊下、エレベーター、浴室は手摺りを設けております。 エレベーターで行けぬ利用者にはポータブルトイレを 使っているにたいです。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	居室入り口や、エレベーターには、応用かるお札 はつけております。利用者のしきたり等と察知し 案内するようにはせず。(自立不可能の時)		
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	2階の庭、安全を考慮し、取っ手つき添 いでの行動(散歩等)になっています。 可能な方は下の棟へ遊びに行かれています。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

家族と離れて暮らす、不安や、勝ちの違う住居で生活する、利用者が少しでも安心して安全で楽しい生活になるよう支援致します。基本理念を念頭に、人権を守り、その人らしい生活かできるように、支援致します。時には家庭にむかされるよう、生活の回復を目指します。